



公益財団法人おおいた共創基金

「めじろん基金」

NO.23 2022(R4). 3

NEWS

「めじろん基金」は、みなさまからのご寄附により、ボランティア団体やNPO法人などの公益活動の支援を行っています。

めじろん基金

- ◆名誉顧問: 広瀬勝貞(大分県知事)
(理事)
- ◆理事長: 鶴田浩一郎 (NPO法人ハットウ・オンパク 代表理事)
- ◆副理事長: 岡田 正彦 (大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター 教授)
- ◆業務執行理事: 坂田 涼(おおいた共創基金 事務局長)
佐藤 誠一郎 (大分県消費生活・男女共同参画プラザ 所長)
仲道 美衣 (特定非営利活動法人 おおいた子ども劇場 理事長)
松井 督治 ((株)大分放送 アナウンサー(同社元メディア局長)
- (監事)
- 井田 雅貴 (弁護士法人リブラ 弁護士)
- 村松 政幸 (松村政幸公認会計士事務所)
- (評議員)
- 磯田 健 (大分県 生活環境部長)
- 梅野 雅子 (NPO法人郷土伝統芸能保存会 理事長)
- 桑野 和泉 ((株)玉の湯 代表取締役社長)
- 権藤 淳 ((株)豊和銀行 頭取)
- 佐藤 善信 (大分市 市民部長)
- 中島 英司 (大分商工会議所連合会 専務理事)
- 橋本 堅次郎 (日本文理大学 学長)
- ベルガー 舞子(立命館アジア太平洋大学語学教育センター准教授)
- 柳井 智雄 (柳井電機工業株式会社 代表取締役社長)
- 山本真壽美 (NPO法人さわやか佐伯 理事長)

※五十音順、敬称略
2021年6月1日現在

大分市大津町 2-1-41 大分県総合社会福祉会館2階 Tel・FAX097-556-3116 E-mail:info@mejiron.org



活動報告



『第5回NPO博に参加しました!』

令和3年11月23日(火)にNPO団体や市民団体の日頃の活動を知ってもらうために大分市が開催した「第5回おおいたNPO博」に参加しました。今年も、昨年同様に「お部屋ラボ 祝祭の広場」で行われ、新型コロナウイルス対策のために入り口で、検温と連絡先の記入が義務づけられました。コロナ禍の影響で来場者は少なめでしたが、ステージでは、団体の紹介や様々な催しが披露され場内は大いに盛り上がりました。めじろん基金も、ステージからPRを行い、ブースでは、PRチラシ、めじろんティッシュなどを配布しました。また、募金箱には、多くの方々にご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。



『おおいたNPO・県民フォーラム2021を開催しました!!』



令和3年12月22日(水)にJ:COMホルトホール大分3階大会議室で「SDGsでつなぐ新たな暮らし～地域創生はパートナーシップから～」と題して「おおいたNPO・県民フォーラム2021」を大分県と共同で開催しました。

今回も昨年同様、コロナ禍での開催ということもあり、会場では密にならないように配慮するとともに、ズームによる同時配信も行いました。

今年度は立教大学特任教授の河口真理子氏をお招きし、「SDGsでつなぐ新たな暮らし～地域創生はエシカルとパートナーシップで～」と題してご講演をいただきました。

また、本年度から県が取り組んでいる「企業のNPO現場体験活動」の報告も、現場体験した各企業、受け入れをした各NPOから行われました。

河口氏からは、SDGs、地域創生、パートナーシップの関係や直面する地球規模の課題、地域からすべきことなど、分かりやすくお話していただきました。

また、PRを希望されたNPO団体、企業、その他の団体の活動内容やSDGsの目標についての資料を作成し、配布しました。



『休眠預金を活用した助成事業説明会及び個別相談会を開催しました！』

令和3年9月14日(火)にオンラインによる「休眠預金を活用した助成事業説明会」を開催しました。当日30名のご参加をいただき、当該事業の指定活用団体の一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)や先進的に事業展開されている公益財団法人佐賀未来創造基金からの説明、また本年度当事業に取り組んでいるNPO法人リエラ、特定非営利活動法人地域ひとネットからの事業紹介などをさせていただきました。さらにその後、10月8日、9日、12月10日に休眠預金事業の取組に関する個別相談会を開催し、延べ13団体のご参加をいただきました。

『非営利組織のための第三者組織評価「グッドガバナンス認証制度」説明会を開催しました！』

令和3年11月25日(木)にオンラインによる『非営利組織のための第三者組織評価「グッドガバナンス認証制度」説明会』を特定非営利活動法人地域ひとネット、一般財団法人非営利組織評価センターとの共催で開催しました。

公平・公正な判断ができる第三者機関の認証を受けることにより、支援者・協力者に対し、またNPO自身にとっても信頼性の向上が期待できます。制度の内容等について一般財団法人非営利組織評価センターの山田業務執行理事様から解説していただきました。

令和3年度 NPO 基盤強化支援事業

本事業は、NPO団体が、寄付金集めのノウハウを身につけることにより、その団体が基盤強化に取り組み、継続的に活動できることを目的に実施しました。本年度は、NPO法人チーム 1.5 おおいた、特定非営利活動法人おおいたの水と生活を考える会が採択され、令和3年9月1日から令和4年2月4日までの間、様々な方法で募金集めを行い、皆様方のご協力により、2団体総額で 136,127 円の寄付金を集めることができました。各団体には、『めじろん基金』から10万円を限度に、それぞれ集めた額と同額の助成金を支給しました。今後とも2団体へのご支援ご協力をお願いいたします。

NPO 法人 チーム 1.5 おおいた



活動を通じて苦労した点、よかった点

・苦労した点

企業に寄付金と賛助会員加入のお願いをして回ったが、活動の趣旨には共感と理解はしていただけのものの、実際にご寄付等をいただける企業は多くない。また、募金箱設置場所の協力者探しと協力の取り付けは苦労した。

・よかった点

NPO法人存続のための事業資金入手の経験と基盤強化を行う一石二鳥の助成事業であり、当法人にとって有効な経験となった。

特定非営利活動法人 おおいたの水と生活を考える会



活動を通じて苦労した点、よかった点

・苦労した点

コロナ禍のなか、会員が集まる機会が少なく、関連企業回りも自粛したため、寄付金集めが困難であった。

・よかった点

寄付金、特に募金集めの大変さを知ることができた。募金箱を置いておくだけでは関心を持たれないため、働きかけが必要であることが分かった。

おおいたボランティア・NPOセンター 令和3年度 講座・セミナー報告等

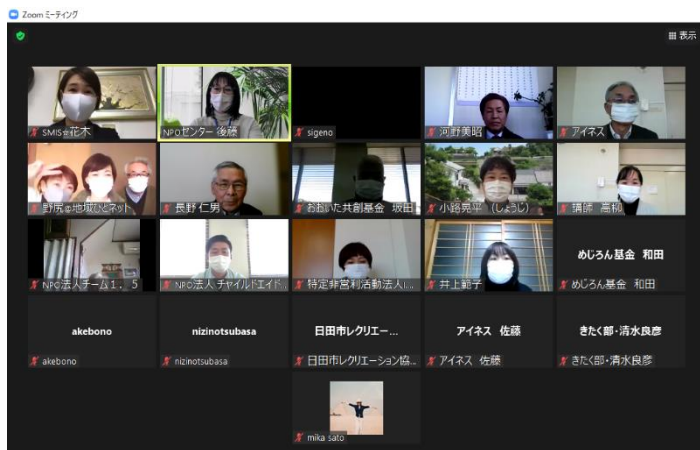
NPO スキルアップ講座

決算書・報告書編

大分県消費生活・男女共同参画プラザ 主幹の高柳陽子さんと相談員の安東俊信さんに、事業報告書等の作成について、分かり易く説明して頂きました。

日時:令和4年2月25日(金) 13:30~15:30

参加団体:16団体17名(オンラインのみ)



出張個別相談会

本年度は、県内3地域に出張し、事業報告書の書き方、定款変更・役員変更について、貸借対照表の公告の仕方、認定NPO等についての個別相談会を実施しました。

中津

参加団体:1団体

日時:令和4年3月1日(火)

日田

参加団体:4団体

日時:令和4年3月10日(木)

竹田

参加団体:3団体

日時:令和4年3月17日(木)



会計フォローアップ

NPO活動に関わる会計について、お悩みのある方を対象に個別相談会を実施しました。

日時:令和4年2月8日(火) 13:30~15:00

参加団体:1団体

